

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・漢字や文法などの定着を確かなものにするために、小テストおよび学習コンテストを実施する。 ・タブレット PC や辞書等で、語句を調べることを習慣化させ、語彙力を身に付けさせる。 ・授業の予習、復習にあたる課題を提示し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。	・「話すこと・聞くこと」では、普段の人との関わりの中で、伝え合う力を身に付けさせる。 ・「書くこと」では、文章を書く中で、筋道を立てて考える力や想像したりする力を身に付けさせる。 ・「読むこと」では、様々な文章を読むことで、自分の思いや考えを確かなものにできる力を身に付けさせる。 ・3つの領域の関連を図りながら学習を行う。	・個人で考える場面とグループで話し合う場面など、発問に合った活動を行い、自己表現ができるようにしていく。 ・タブレット PC など ICT 機器を積極的に活用し、学習の理解や主体的な学びにつなげていく。	・单元ごとに、生徒が自らの学習過程を振り返り、課題意識をもって学習していけるよう、評価を行う。 ・单元のまとめまでに、学習の途中経過や進度を適宜、確認し、評価を行う。 ・单元のまとめとして、完成した作品や発表等で評価を行う。 ・各提出物の評価観点を明確にし、細かなチェックを行う。

◎单元（1～数十時間の学習内容のまとめ）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	【单元】・『教材』	ICT との関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	授業オリエンテーション(図書館オリエンテーションを含む)	デジタル教科書等を適宜使用していく。 大型ディスプレイ、PC、タブレット端末、書画カメラ、	3			
	【詩を読む1】 『朝のリレー』		2	単元目標：『朝のリレー』を読んで、自分の考えを確かなものにして、伝え合おう。		
				詩を読んで、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
	【物語を読む1】 『竜』		4	単元目標：『竜』を読んで、描写から場面や登場人物の変化について捉えよう。		
				物語文を読んで、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、使っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	進んで心情の変化などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。

	<p>【説明文を読む1】 『ペンギンの防寒着』 『クジラの飲み水』</p>	<p>大型ディスプレイ、PC、タブレット端末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	5	<p>単元目標：『ペンギンの防寒着』や『クジラの飲み水』を読んで、構成や表現の効果を考え、内容を捉えよう。</p> <p>説明文を読んで、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p>	<p>進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。</p>
5	<p>【文章を書く1】 『課題作文』</p>		3	<p>単元目標：根拠を明確にしながら、自分の考えを文章で書こう。</p> <p>文章を書いて、原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「書くこと」において、根拠を明確にしながら自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p>	<p>粘り強く文章全体を整え、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</p>
	<p>【話す・聞く1】 『グループディスカッション』</p>		5	<p>単元目標：『グループディスカッション』で、話題の展開を捉え、互いの意見をまとめよう。</p> <p>話し合いをして、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、相手の反応をふまえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。</p>	<p>積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。</p>
	<p>【文法のまとめ1】 『言葉の単位・文節の関係』</p>		3	<p>単元目標：言葉の単位と文節を理解しよう。</p> <p>言葉の単位と文節について学習し、理解している。</p>		<p>進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
6	<p>【言葉発見1】 『音声のしくみとはたらき』</p>		1	<p>単元目標：音声の仕組みやはたらきについて、理解を深めよう。</p> <p>音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。</p>		<p>進んで音声のはたらきやしくみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
	<p>【言葉発見2】 『話し言葉と書き言葉』</p>		1	<p>単元目標：話し言葉と書き言葉について理解を深めよう。</p> <p>話し言葉と書き言葉について学習し、理解を深めている。</p>		<p>進んで話し言葉や書き言葉について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>

<p>【文章を書く2】 『レポート』</p>			<p>5</p> <p>単元目標：さまざまな情報を整理しながら、自分の伝えたいことを明確にしてレポートを書こう。</p> <p>レポートを書いて、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>「書くこと」において、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>「書くこと」において、根拠を明確にしながら自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p>	<p>粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。</p>
<p>【物語を読む2】 『空中ブランコ乗りのキキ』</p>			<p>4</p> <p>単元目標：『空中ブランコ乗りのキキ』を読んで、展開や表現の効果について考えよう。</p> <p>物語文を読んで、原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</p>	<p>積極的に場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。</p>
<p>7 【漢字のしくみ1】 『活字と手書き文字・画数・筆順』</p>			<p>1</p> <p>単元目標：活字や手書き文字、画数、筆順の特徴を捉えよう。</p> <p>活字や手書き文字、画数、筆順について理解を深めている。</p>		<p>進んで字形や画数、筆順などについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
<p>【漢字のしくみ2】 『部首と成り立ち』</p>			<p>1</p> <p>単元目標：漢字の部首と成り立ちについて理解しよう。</p> <p>漢字の部首と成り立ちについて理解を深め、常用漢字（300字～400字）を読んでいる。</p>		<p>進んで漢字の部首と成り立ちについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
<p>【書写】 『硬筆』</p>			<p>10</p> <p>単元目標：硬筆の書き方の特徴を捉え、楷書と行書を書けるようになる。</p> <p>字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。</p> <p>漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書いている。</p>		<p>根気強く漢字と仮名のバランスを考え、楷書や行書で文字を書こうとしている。</p>
<p>9 【文章を書く3】 『読書感想文』</p>		<p>大型ディスプレイ、PC、タブレット端末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。</p>	<p>4</p> <p>単元目標：文章を推敲して、読み手に伝わりやすい読書感想文を作ろう。</p> <p>文章を書いて、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p>	<p>「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p> <p>「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</p>	<p>粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもって読書感想文を書こうとしている。</p>

				いる。		
	【随筆】 『字のない葉書』	大型ディスプレイ、マ、タブレット端末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。	3	<p>単元目標：『字のない葉書』を読んで、場面や登場人物の変化を描写から解釈しよう。</p> <p>随筆を読んで、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	進んで心情の変化などについて描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。
	【文章を書く4】 『随筆』		4	<p>単元目標：日常生活を振り返り、表現を工夫しながら随筆を書いてみよう。</p> <p>随筆を書くときに、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。B(1)ア「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	粘り強く日常生活の中から題材を決め、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
	【説明文を読む2】 『玄関扉』		4	<p>単元目標：『玄関扉』を読んで、三角ロジックを活用しながら、要旨をつかもう。</p> <p>説明文を読んで、原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。	進んで事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、学習課題にそって考えをまとめようとしている。
10	【話す・聞く2】 『スピーチ』		5	<p>単元目標：事実や意見との関係を意識しながら、相手に分かりやすく伝えるスピーチをしよう。</p> <p>原稿を作成するときに、原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>	「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応をふまえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。
	【言葉発見3】		1	<p>単元目標：指示語と接続語について理解しよう。</p>		

『接続する語句・指示する語句』	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。
【古典を読む1】 『月を思う心』	1	<p>単元目標：『月を思う心』に関する言語の知識を身に付け、古典を読むことに生かそう。</p> <p>古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。</p> <p>「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</p>	進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。
【古典を読む2】 『竹取物語』	4	<p>単元目標：『竹取物語』を読んで、古典文学に親しみつつ、場面展開を捉えよう。</p> <p>音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。</p> <p>「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p>	描写をもとに、進んで登場人物の相互関係や心情の変化を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。
【文章を書く5】 『変わり身の上話』	2	<p>単元目標：『変わり身の上話』で、書いた文章を読んでもらい、より良い文章を作り上げよう。</p> <p>文章を書いて、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p>	粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって短い話を書こうとしている。
【漢文】 『故事成語』	3	<p>単元目標：『故事成語』の言葉の成り立ちを理解し、現代の生活と関連付けて自分の考えをもとう。</p> <p>漢文を読んで、音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p>	進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。
1 1 【漢字のしくみ3】 『漢字の音と訓』	1	<p>単元目標：漢字の音と訓について理解を深めよう。</p> <p>漢字の音と訓について理解を深め、常用漢字（300字～400字）を読んでいる。</p>	進んで漢字の音と訓について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。

大型ディスプレイ、タブレット端末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。

大型ディスプレイ、PC、タブレット端末、書画カメラ、デジタル教科書等を適宜使用していく。

<p>【情報をまとめる】 『複数の情報を関連づけて考えをまとめている』</p>		<p>5</p> <p>単元目標：情報と情報の関係や図表の読み取り方に注意し、必要な情報をまとめよう。</p> <p>様々な情報から、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。</p> <p>「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。</p>	<p>積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。</p>
<p>1 2 【書写】 『毛筆』</p>		<p>1 0</p> <p>単元目標：毛筆での楷書と行書の書き方を身に付けよう。</p> <p>字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書いている。</p>		<p>根気強く漢字と仮名のバランスを考え、これまでの学習を生かして、楷書や行書で文字を書こうとしている。</p>
<p>【文法のまとめ2】 『単語の類別・品詞』</p>		<p>3</p> <p>単元目標：単語の類別について理解しよう。</p> <p>単語の類別について理解している。</p>		<p>進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
<p>1 【詩を読む2】 『それだけでいい』</p>		<p>2</p> <p>単元目標：『それだけでいい』を読み、言葉の表現の効果を捉え、読みを深めよう。</p> <p>詩を読んで、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p>	<p>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p>	<p>進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>【言葉発見4】 『比喩・倒置・反復・対句・体言止め』</p>		<p>1</p> <p>単元目標：修辞技法について理解し、使ってみよう。</p> <p>比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p>		<p>進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>
<p>【文章を書く6】 『詩』</p>		<p>4</p> <p>単元目標：読み手の立場に立って、叙述の仕方を考えて詩を書いてみよう。</p> <p>詩を読んで、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊</p>	<p>「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p>	<p>粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。</p>

			かにしている。		
	【物語を読む3】 『トロッコ』	5	<p>単元目標：『トロッコ』を読み、場面や描写を結び付けて、内容を解釈しよう。</p> <p>小説を読んで、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。	進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。
2	【話す・聞く3】 『ブッククラブ』	2	<p>単元目標：『ブッククラブ』で他の人の話の内容を捉え、共通点や相違点から、自分の考えをまとめよう。</p> <p>話し合いで、読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p>	「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。	積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。
	【説明文を読む3】 『意味と意図』	4	<p>単元目標：『意味と意図』を読み、内容の主旨を捉え、文章を要約しよう。</p> <p>説明文を読んで、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p>	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。
	【言葉発見5】 『方言と共通語』	1	<p>単元目標：方言と共通語の役割について理解しよう。</p> <p>共通語と方言の果たす役割について理解している。</p>		進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。

<p>【文章を書く7】 『意見文』</p>		5	<p>単元目標：段落構成を意識して、根拠を明確にして意見文をまとめよう。</p> <p>文章を書いて、原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</p> <p>「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p>粘り強く根拠が明確になるよう工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</p>
<p>【物語を読む4】 『少年の日の思い出』</p>		5	<p>単元目標：『少年の日の思い出』を読んで、文章の構成や展開から根拠を明確にしよう。</p> <p>小説を読んで、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p> <p>進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。</p>
<p>3 【話す・聞く4 文章を書く8】 『グループ新聞』</p>		8	<p>単元目標：グループで様々な情報から意見をまとめて、グループ新聞を作成しよう。</p> <p>話し合いや新聞を作成し、比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。</p> <p>「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p> <p>粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。</p>
<p>評価材および評価方法</p>	<p>小テストや提出課題の内容 定期考査</p>	<p>小テストや提出課題の内容 定期考査</p>	<p>提出課題の内容 授業への取り組み姿勢</p>

※【知識・技能】(1)イ「小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。」については、単元ごとに指導を行い、書いたり、読んだりすることで生活に生かすことができるように指導する。